

平成 22 年度 事業報告書

I 設置校の概要（平成 22 年 5 月 1 日現在）

1 学生、生徒及び園児数

2 専任教職員数

II 役員会の開催状況

III 主な事業の目的・計画及び実績

IV 決算及び財務状況

学校法人富山国際学園

I 設置校の概要

1. 学生・生徒・園児数(平成22年5月1日在籍)

部門	学部・学科名等	収容定員 (A) 人	1年 人	2年 人	3年 人	4年 人	在籍合計 (B) 人	定員充足率 B/A	備考
大学	子ども育成学部	160 (80)	77 (64)	63			140 (64)	0.88 (0.80)	
	現代社会学部	365 (240)	138 (120)	119 (129)	126		383 (249)	1.05 (1.04)	
	国際教養学部	130 (260)			1 (1)	43 (37)	44 (104)	0.34 (0.40)	
	地域学部	120 (250)			2 (5)	78 (76)	80 (175)	0.67 (0.70)	
	小計	775 (830)	215 (184)	182 (135)	129 (113)	121 (160)	647 (592)	0.83 (0.71)	
短大	食物栄養学科	160 (160)	93 (92)	89 (84)			182 (176)	1.14 (1.10)	
	幼児教育学科	160 (160)	93 (80)	79 (93)			172 (173)	1.08 (1.08)	
	経営情報学科	200 (190)	120 (123)	120 (95)			240 (218)	1.20 (1.15)	
	福祉学科	140 (150)	63 (61)	58 (57)			121 (118)	0.86 (0.79)	
	専攻科食物栄養専攻	30 (30)	8 (18)	17 (13)			25 (31)	0.83 (1.03)	
	小計	690 (690)	377 (374)	363 (342)			740 (716)	1.07 (1.04)	
高校	全日制課程普通科	695 (700)	241 (268)	253 (173)	164 (205)		658 (646)	0.95 (0.92)	入学定員②225 ①220 ②250
幼稚園		84 (84)	(3歳児) 24 (28)	(4歳児) 26 (25)	(5歳児) 27 (35)		77 (88)	0.92 (1.05)	
総計		2,244 (2,304)					2,122 (2,042)	0.95 (0.89)	

※1. 在籍合計欄の は定員割れを示す

※2. ()内は21年度の収容定員及び在籍人員(5月1日現在)

[参考] : 平成23年度在籍数

部門	学部・学科名等	収容定員 (A) 人	1年 人	2年 人	3年 人	4年 人	在籍合計 (B) 人	定員充足率 B/A	備考
大学	子ども育成学部	245	83	75	68		226	0.92	
	現代社会学部	490	103	138	112	121	474	0.97	
	国際教養学部 (募集停止)					2	2		
	地域学部 (募集停止)					2	2		
小計	735	186	213	180	125	704	0.96		
短大	食物栄養学科	160	88	91			179	1.12	
	幼児教育学科	160	94	93			187	1.17	
	経営情報学科	200	125	117			242	1.21	
	福祉学科	140	43	57			100	0.71	
	専攻科食物栄養専攻	30	14	8			22	0.73	
小計	690	364	366			730	1.06		
高校	全日制課程普通科	710	247	226	238		711	1.00	入学定員 ①220 ②250 ③240
幼稚園		84	(3歳児) 39	(4歳児) 27	(5歳児) 26		92	1.10	
総計		2,219					2,237	1.01	

2. 専任教職員数(平成22年5月1日在籍)

	本部	大学	短大	高校	幼稚園	合計	備考
教員数	— (—)	53 (54)	44 (43)	39 (38)	6 (6)	142 (141)	特任教員を含む
職員数	3 (3)	24 (26)	26 (23)	4 (4)	— (—)	57 (56)	実習助手を含む
合計	3 (3)	77 (80)	70 (66)	43 (42)	6 (6)	199 (197)	

※ ()内は平成21年5月1日在籍の人数である

II 役員会の開催状況

- 平成22年5月27日 理事会・評議員会
- 平成22年6月24日 理事会
- 平成22年9月22日 理事会・評議員会
- 平成23年3月24日 理事会・評議員会

区分	開催日現在の状況		開催年月日	議 事 内 容
	定 員	現 員(a)		
理 事 会	20~26	21	平成22年5月27日	第204回理事会 議案第1号 平成21年度事業報告及び決算報告の件 → 議決 議案第2号 富山国際大学付属高等学校学則の一部改正の件 → 議決 議案第3号 学識経験者のうちから評議員選任の件 → 議決
		21	平成22年6月24日	第205回理事会 議案第1号 富山国際大学学長選考の件 → 議決
		20	平成22年9月22日	第206回理事会 議案第1号 平成22年度資金収支補正予算案及び消費収支補正予算案に関する件 → 議決 議案第2号 富山国際大学学則の一部改正の件 → 議決 議案第3号 富山短期大学学則の一部改正の件 → 議決 議案第4号 富山国際大学付属高等学校学則の一部改正の件 → 議決 議案第5号 学識経験者のうちから評議員選任の件 → 議決
		20	平成23年3月24日	第207回理事会 議案第1号 平成22年度資金収支補正予算案及び消費収支補正予算案に関する件 → 議決 議案第2号 平成23年度事業計画案並びに資金収支予算案及び消費収支予算案に関する件 → 議決 議案第3号 富山短期大学学則の一部改正の件 → 議決 議案第4号 法人職員のうちから評議員推薦の件 → 議決 議案第5号 法人の設置する学校卒業生のうちから評議員選任の件 → 議決 議案第6号 学識経験者のうちから評議員選任の件 → 議決 議案第7号 学識経験者のうちから理事選任の件 → 議決

区分	開催日現在の状況		開催年月日	議 事 内 容
	定 員	現 員(a)		
評 議 員 会	41~53	42	平成22年5月27日	第186回評議員会 諮問第1号 平成21年度事業報告及び決算報告の件 → 了承 諮問第2号 富山国際大学付属高等学校学則の一部改正の件 → 了承
		41	平成22年9月22日	第187回評議員会 諮問第1号 平成22年度資金収支補正予算案及び消費収支補正予算案に関する件 → 了承 諮問第2号 富山国際大学学則の一部改正 → 了承 諮問第3号 富山短期大学学則の一部改正 → 了承 諮問第4号 富山国際大学付属高等学校学則の一部改正の件 → 了承
		41	平成23年3月24日	第188回評議員会 諮問第1号 平成22年度資金収支補正予算案及び消費収支補正予算案に関する件 → 了承 諮問第2号 平成23年度事業計画案並びに資金収支予算案及び消費収支予算案に関する件 → 了承 諮問第3号 富山短期大学学則の一部改正の件 → 了承 議案第1号 法人職員のうちから評議員選任の件 → 議決 議案第2号 評議員のうちから理事選任の件 → 議決

Ⅲ 主な事業の目的・計画および実績

富山国際大学

(1) 平成 22 年度学生募集活動及び平成 23 年度入学者数

定員確保が経営改善の最重点課題であることから、県内募集に特化し、ホームページ充実による情報発信の再整備を柱として募集活動を行った結果、子ども育成学部では学部創設 3 年目で入学定員を確保し、現代社会学部では、東黒牧ニュースを活用して広く大学キャンパスの紹介、教育・地域貢献などを公開し、学生募集という点でも一定の効果を得たものの、平成 23 年度の大学全体としては定員充足率〔在籍学生数/収容定員〕において 0.88 から 0.96 と改善しているが若干定員割となった。

(2) 重点目標・活動計画を中心とした取組み

平成 21 年度に日本私立学校振興・共済事業団から認定を受けた、①学生定員の確保、②人件費の削減、③外部資金の導入を柱にした本学の「経営改善計画」が進行中であるが、①においては前述のとおり定員確保ができていないものの、②については当初計画の人件費より若干早く達成できている。③の外部資金の積極的獲得では、平成 21 年度に採択された文部科学省選定事業である「学生支援推進プログラム」に引き続き、平成 22 年度には「大学生の就業力育成支援事業」が採択され 20,000 千円の補助金収入を得た。この事業において、正課教育、正課外教育、正課外活動の成果や活動内容、各種相談記録などを保管・蓄積し、学生自身が自己のキャリア形成を自己管理し将来設計に役立てるとともに、教職員も教育・指導に活用するための「キャリアポートフォリオシステム」を 13,650 千円かけ構築した。

さらに、経営改善計画にもある「エクステンション・カレッジ」設置に向け、本学創立 20 周年記念を機に知的資源を社会に還元することを目的として、エクステンション・プログラムを開講した。本プログラムは、市民の生涯学習に対する要請に応えるとともに、本学の学生にも、市民と共に学び、人間力を向上させる機会を提供すべく、新しい“学び”の場を創り出すものである。

また、法令で定められている（財）日本高等教育評価機構による平成 22 年度大学機関別認証評価において、同機構の評価基準を『すべて満たしている』との評価を受け、認定書が授与された。

富山短期大学

(1) 平成 22 年度学生募集活動及び平成 23 年度入学者数

オープンキャンパスでの生徒送迎バスの増便、進学相談会への積極的参加、Web ページを充実した結果、食物栄養学科、幼児教育学科、経営情報学科においては例年どおり定員を確保をすることができた。全体としては定員を確保できたものの、福祉学科においては職業訓練委託生や介護雇用プログラムによる学生受入れてもなお定員確保できなかった。

(2) 重点目標・活動計画を中心とした取組み

校舎の耐震化は長年の課題である。平成 22 年度は校舎改築工事基本設計業務委託料 4, 200 千円をかけ開学 50 周年に向け校舎改築に着手した。

教育研究では、教員の積極的な研究を啓発するため、ガスクロマトグラフを 3, 045 千円にて導入した。これにより全国的な学会において複数の論文を発表するなどの実績を残し、企業からの助成金が得られた。

就職率が全国的に低下している中、平成 22 年度末の就職決定率は 99.7% と高い実績を上げることができた。

富山国際大学付属高等学校

(1) 平成 22 年度生徒募集活動及び平成 23 年度入学者数

新たにテレビコマーシャルを取り入れたことにより、新校舎をアピールすることができた。

スクールバスの運行も各中学校や保護者に周知されはじめたことにより、入学定員を確保することができた。

(2) 重点目標・活動計画を中心とした取組み

生徒数確保と校舎の耐震化が長年の課題であったが、校舎改築 I 期工事を予定どおり施行し、鉄筋コンクリート造 5 階建て、総面積は 5, 299.74 m²、外観は茶色を基調とした E 館と調和したデザインの校舎が完成した。事業費は次のとおりである。

校舎改築 I 期工事	813, 000 千円
校舎改築 I 期工事基本設計料	5, 775 千円
校舎改築 I 期工事設計監理料	57, 000 千円
既設体育館壁塞ぎ工事	882 千円
校舎解体跡地埋め戻し簡易アスファルト工事	6, 143 千円
校舎改築 I 期工事外構さく井及び散水追加工事	8, 400 千円
校舎改築 I 期工事 IP 電話設備工事	4, 673 千円
新校舎用備品一式	14, 167 千円

校舎改築Ⅰ期工事に引き続き特別教室等を整備するため校舎改築Ⅱ期工事実施設計に着手した。平成22年度の校舎改築Ⅱ期工事実施設計委託料は13,230千円であった。

また、生徒確保に大きく寄与しているスクールバスの平成22年度収支は次のとおり。

収入	16,552千円
支出	24,740千円

その他教育設備整備費補助金により、トレーニングマシン一式を整備。今後の体育系部活動に活用する。

富山短期大学附属みどり野幼稚園

(1) 平成22年度園児募集活動及び平成23年度入園者数

送迎バスのコース増や預かり保育を実施したことにより定員充足率は1.10（前年度0.92）となった。

(2) 重点目標・活動計画及び取組み

- ①みどり野幼稚園の将来像を明確にするための取組み
- ②園舎の老朽化にともなう耐震化の問題
- ③園児数減少への対応
- ④研究・研修の推進

以上4点を平成22年度の本園の課題として取り組んできたが、園児数を確保するため、小型通園バスを1台増加したことにより今まで回れなかった地域へのルートができた。また、エアコンを設置することにより夏場の預かり保育が可能となり、入園希望者の増加につながった。

資金収支計算書

平成22年 4月 1日から
平成23年 3月31日まで

(単位 千円)

収入の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
学生生徒納付金収入	1,681,070	1,695,351	△ 14,281	
手数料収入	33,725	33,336	389	
寄付金収入	2,005	3,610	△ 1,605	
補助金収入	558,049	589,435	△ 31,386	
国庫補助金収入	316,275	323,418	△ 7,143	
地方公共団体補助金収入	229,067	250,284	△ 21,217	
その他補助金収入	12,707	15,733	△ 3,026	
資産運用収入	34,020	46,488	△ 12,468	
資産売却収入	1	0	1	
事業収入	45,045	73,898	△ 28,853	
雑収入	42,050	48,415	△ 6,365	
借入金等収入	3,724	1,430	2,294	
前受金収入	463,452	438,882	24,570	
その他の収入	1,144,368	996,792	147,576	
資金収入調整勘定	△ 486,275	△ 523,040	36,765	
前年度繰越支払資金	909,302	909,302	0	
収入の部合計	4,430,536	4,313,899	116,637	
支出の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
人件費支出	1,668,409	1,629,063	39,346	
教育研究経費支出	569,186	534,023	35,163	
管理経費支出	130,311	116,075	14,236	
借入金等利息支出	4,429	4,428	1	
借入金等返済支出	30,430	30,470	△ 40	
施設関係支出	905,145	905,098	47	
設備関係支出	65,586	60,279	5,307	
資産運用支出	159,878	148,309	11,569	
その他の支出	230,962	231,027	△ 65	
	(11,800)			
[予備費]	3,700		3,700	
資金支出調整勘定	△ 438,500	△ 473,893	35,393	
次年度繰越支払資金	1,101,000	1,129,020	△ 28,020	
支出の部合計	4,430,536	4,313,899	116,637	

(注) 予備費の使用額の内訳は、下記のとおりである。

建物支出	11,800
合 計	11,880

消費収支計算書

平成22年 4月 1日から
平成23年 3月31日まで

(単位 千円)

消費収入の部				
科	目	予 算 額	決 算 額	差 異
学生生徒納付金		1,681,070	1,695,351	△ 14,281
手数料		33,725	33,336	389
寄付金		2,708	7,340	△ 4,632
補助金		558,049	589,435	△ 31,386
国庫補助金		316,275	323,418	△ 7,143
地方公共団体補助金		229,067	250,284	△ 21,217
その他補助金		12,707	15,733	△ 3,026
資産運用収入		34,020	46,488	△ 12,468
資産売却差額		1	0	1
事業収入		45,045	73,898	△ 28,853
雑収入		42,050	51,438	△ 9,388
帰属収入合計		2,396,668	2,497,286	△ 100,618
基本金組入額合計		△ 331,317	△ 98,535	△ 232,782
消費収入の部合計		2,065,351	2,398,751	△ 333,400
消費支出の部				
科	目	予 算 額	決 算 額	差 異
人件費		1,681,409	1,618,764	62,645
教育研究経費		844,686	809,187	35,499
管理経費		132,471	118,150	14,321
借入金等利息		4,429	4,428	1
資産処分差額		113,500	131,808	△ 18,308
		(0)		
[予備費]		15,500		15,500
消費支出の部合計		2,791,995	2,682,337	109,658
当年度消費支出超過額		△ 726,644	△ 283,586	
前年度繰越消費支出超過額		△ 1,900,292	△ 1,900,292	
翌年度繰越消費支出超過額		△ 2,626,936	△ 2,183,878	

貸借対照表

平成23年3月31日

(単位 千円)

資産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産		11,341,511	11,473,358	△ 131,847
有形固定資産		7,329,528	6,765,849	563,679
土地		394,414	394,414	0
建物		5,476,371	4,907,550	568,821
その他の有形固定資産		1,458,743	1,463,885	△ 5,142
その他の固定資産		4,011,983	4,707,509	△ 695,526
流動資産		1,208,087	1,078,726	129,361
現金預金		1,129,020	909,302	219,718
その他の流動固定資産		79,067	169,424	△ 90,357
資産の部合計		12,549,598	12,552,084	△ 2,486

負債の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債		768,585	807,623	△ 39,038
長期借入金		44,590	73,330	△ 28,740
その他の固定負債		723,995	734,293	△ 10,298
流動負債		978,203	756,599	221,604
短期借入金		29,920	30,220	△ 300
その他の流動負債		948,283	726,379	221,904
負債の部合計		1,746,788	1,564,222	182,566

基本金の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金		12,027,210	11,978,734	48,476
第2号基本金		750,000	700,000	50,000
第3号基本金		13,478	13,420	58
第4号基本金		196,000	196,000	0
基本金の部合計		12,986,688	12,888,154	98,534

消費収支差額の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額		△ 2,183,878	△ 1,900,292	△ 283,586
消費収支差額の部合計		△ 2,183,878	△ 1,900,292	△ 283,586

科	目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計		12,549,598	12,552,084	△ 2,486

財 産 目 録

I 資産総額	12,549,598	千円
内 基本財産	7,330,849	千円
運用財産	5,218,749	千円
収益事業用財産	0	千円
II 負債総額	1,746,788	千円
III 正味財産	10,802,810	千円

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	
土地	183,750.00 m ² 394,414 千円
建物	49,938.16 m ² 5,476,371 千円
図書	238,092 冊 938,718 千円
教具・校具・備品	9,861 点 306,155 千円
その他	215,191 千円
2 運用財産	
現金預金	1,129,020 千円
その他	4,089,729 千円
3 収益事業用財産	0 千円
資産総額	12,549,598 千円
負債額	
1 固定負債	
長期借入金	44,590 千円
その他	723,995 千円
2 流動負債	
短期借入金	29,920 千円
その他	948,283 千円
負債総額	1,746,788 千円
正味財産(資産総額－負債総額)	10,802,810 千円